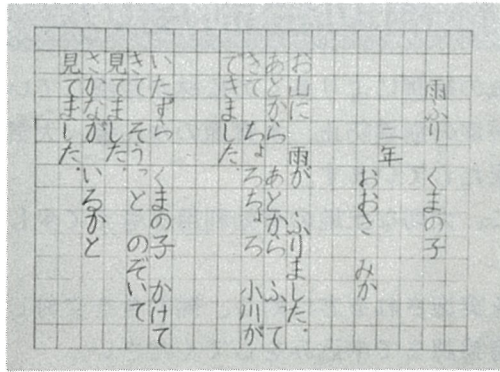
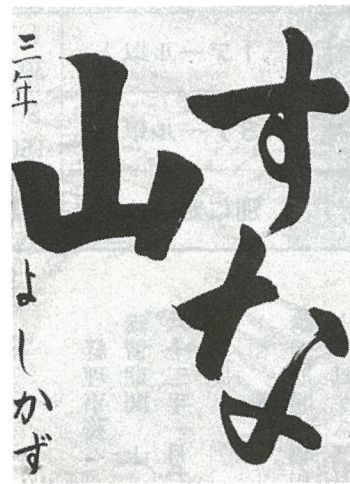




3年 平山 和美



2年 おおき みか



3年 中川 よしかず

シリーズ ③2

我が家の家庭教育

小川台 鈴木照代

子供達が小さかった頃、健康で明るく、友達がたくさんいる子に育って欲しいと思っていました。そして、中二、小四、保育園児に成長した三人の子供を見ると、一長一短ありますが、毎日を元気に生活しています。

どこの家庭でも、手伝いはやっていると思います。我が家でもそれぞれに決めた事を毎日やります。長女は夕飯時の

おじやまします

学校訪問 日吉小学校



十月九日、日吉小学校で写生会が行なわれました。高学年は芝山の仁王尊を、低学年は校舎附近の風景を写生しました。秋晴れの下で、白い大きな画用紙にいつしうけんめい筆を走らせていました。この写生会で、でき上がった作品の中から、十月十八日、十九日に行なわれた八匠管内小・中学校児童生徒図画展に出品され、五年生の小川勝枝さんの作品が県展に出品されることになりました。



準備、後片付けの手伝い、長男と二女はガラス戸の鍵をかけて、カーテンを締める事です。時どき、忘れる事もあります。私が仕事の都合で薄暗くなってから家に帰った時、これらの事がやっているとほっとした気持ちになります。今、家事はスイッチ一つで何でもでき、インスタント食品が全盛の時になっています。子供を使うより親がやれば、てっとり早く、上手にできます。でも、これでは子供は何もできなくなってしまう、子供自身が困る事になります。子供と一緒に学校であった事や家でやった事など、お互いに話をしながらやる

と楽しいものです。家事だけの手伝いではなく、我が家は農家なので、いろいろ手伝ってもらい事もあります。常づね、子供にできる手伝いはさせたいと考えています。そうする事によって家の仕事を知る事にもなるし、家族が一つになり皆いい気分が家の中が明るく楽しいものになります。子供は親の後姿を見て育つと言われています。親の態度や気持ちの持ち方で、子供の態度も変わります。相手の立場に立つてものを考え、気持ちをくんでやれる様な人になってもらいたいので、両親、夫と共に私も毎日努力したいと思っています。